

「検定」宿泊プラン人気

神戸、明石のホテルなど企画

地域の「町の魅力再発見を」 設問続々

神戸市内のホテルや観光業者らが、町歩きしながら地域にまつわる設問に答えるクイズ付き宿泊プランを売り出している。新型インフル発生以来、落ち込んでいる客足を呼び戻そうと発案。設問は歴史や映画のロケ地などにまつわる内容で、昨今の「当地検定ブーム」を追い風に全国の旅行者から人気を集めている。

(末水陽子)

市内の観光業者らでつくる交流会「神戸TOH(トー)の会」が企画した宿泊プラン「TOH KOBÉ〈学〉」。同会に所属する神戸、明石市内のホテル14社が参加している。宿泊者は地域にまつわるクイズ専用の問題集を渡され、コースに沿って観光地を巡る。歴史・文学▽映画・アニメ▽動物・乗り物▽の3コースから選べる。設問はホテル従業員らが考案。映画のロケ地、鉄人28号ミニチュメント、王子動物園など、有名な観光地以外の問題も多く、現場に足を運ばないと答えられない難題もある。各コース10問ずつ。解答用紙として専用はがきが付属し、郵送する。7問以上正解した利用者には抽選でプレゼントが当たる。



TOHの会が企画した専用問題集。「リピーターも楽しめる」と津田会長「神戸市中央区下山手通、つだきよ本舗」

神戸や近隣のホテルは、昨年の新型インフル発生の影響で、今も稼働率が前年同月比を20%も下回っているとある。プランは15日に売り出し、初日で10件近い予約が入ったホテルも多いなど、「神戸観光の魅力を発見してもらえの起爆剤に」と期待が膨らんでいる。販売は3月末まで、問題集は約1500部用意した。同会長で、ホテル支援会社「つだきよ本舗」の津田喜代子社長(48)は「普通の観光ガイドブックには載っていない、町の魅力を発見してもらえ」と話している。